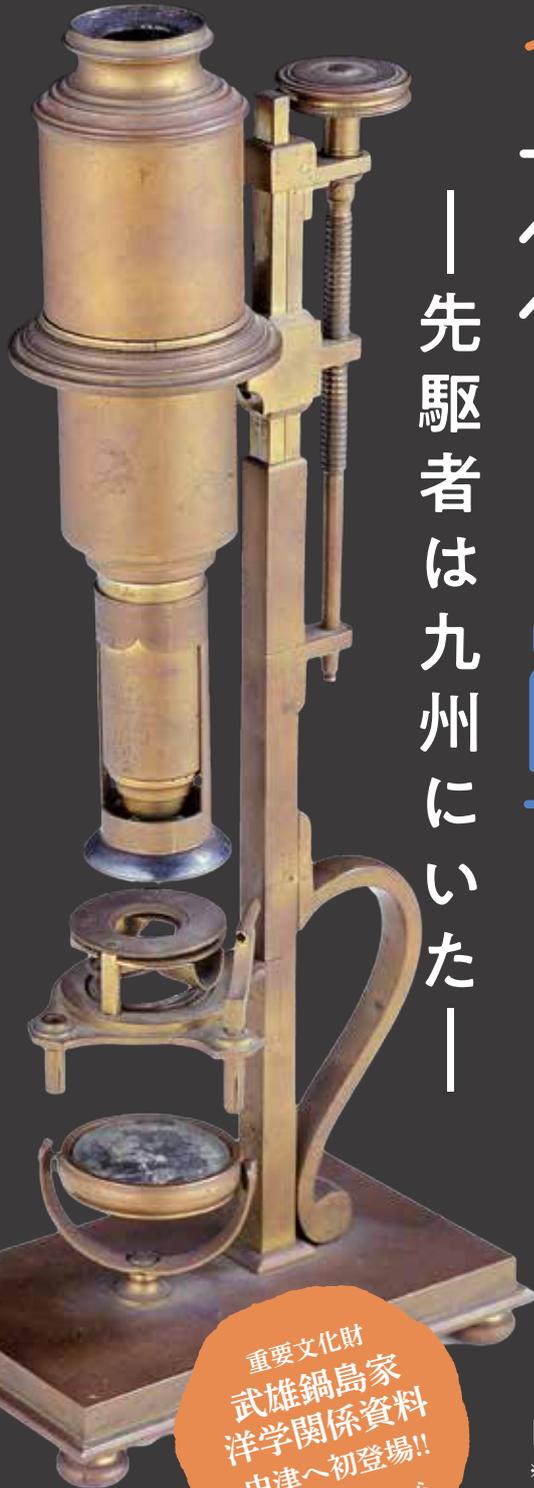


伝染病との戦い

—先駆者は九州にいた—



シーボルト像 / 武雄市蔵



顕微鏡(重要文化財) / 武雄市蔵



池田流痘瘡唇舌鑑図 / 中津市蔵

重要文化財
武雄鍋島家
洋学関係資料
中津へ初登場!!
※展示は7/20から

2021年
6月26日[土] ▶ 8月22日[日]
中津市歴史博物館

[開館時間] 9:00~17:00(入館は16:30まで)

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、臨時休館や入場制限を実施する可能性があります。

[休館日] 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

[観覧料] 一般300円(中学生以下無料)、団体100円(20名以上)



関連イベント〔要予約〕

記念講演

「中津藩の種痘とコロナパンデミック」

講師／川島真人氏(医師・日本医学学会名誉会員)

7月31日(土) 14:00～

場所:新中津市学校 2階 集会室

定員:50名 資料代:300円(観覧料込み)

記念講演

「東西交流における天然痘と 予防接種の黎明期」

講師／ヴォルフガング・ミヒェル氏
(九州大学名誉教授)

「熊本藩における天然痘対策 —中津藩との比較事例として—」

講師／大島明秀氏(熊本県立大学准教授)

8月9日(月・振替休日) 13:00～15:20

場所:新中津市学校 2階 集会室

定員:50名 資料代:300円(観覧料込み)

中津医跡さんぽ

●大江医家史料館コース

7月17日(土) 13:00～15:30

●村上医家史料館コース

8月21日(土) 10:00～12:00

定員:各20名 参加料:300円(観覧料込み)

ギャラリートーク

7月16日(金) 18:00～

8月6日(金) 18:00～

定員:各20名 要観覧料

※全てのイベントは電話で事前申し込み

7月1日(木)より受付開始

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、
イベントを中止する可能性があります。

お問い合わせ・申込先／

中津市歴史博物館 ☎0979-23-8615



伝染病との戦い

—先駆者は九州にいた—

いま、新型コロナウイルスが世界各地で猛威を振るっていますが、人類の歴史は常に伝染病との戦いの中にあっただといえます。

なかでも長きにわたって猛威を振るったのは天然痘で、人々は大陸からもたらされたこの病を恐れて祭りを行ったり、まじないを行ったりしました。

江戸時代になると、漢方医学や蘭方医学の学者たちは、天然痘で苦しむ人を救うため、様々な治療法を習得しようとしていましたが、その先駆者となったのは、他ならぬ九州の人々でした。筑前秋月で日本初の天然痘予防接種をした緒方春朔、オランダから牛痘法の導入に尽力した佐賀藩の人々、そして全国に先駆けて長崎で牛痘を学び、庶民への接種を促した中津藩の医者たちの伝染病との戦いにスポットを当て、彼らの戦いの歴史をふりかえります。



初公開 高野長英を中津藩へ推薦する書簡 瀬河筆神谷弘孝宛書簡／個人蔵



種痘新論(重要文化財)／武雄市蔵
※展示は7/20から



日本初の予防接種記録 種痘必順弁／朝倉市・個人蔵



種痘法則／武雄市蔵



痘絵繪(鯛車)／武雄市蔵

重要文化財武雄鍋島家 洋学関係資料 中津へ初登場!! ※展示は7/20から